

## 平成30年度厨房設備士試験実技試験結果 講評

### 2級

#### (1) 離隔距離を答える問題

業務用ガス機器の設置基準に基づいて、ゆで麺機を設置する場合の周囲壁の材質（不燃材料、可燃材料）、ゆで麺機がガス機器防火性能評定品である場合と無い場合等、それぞれの条件下での壁からの離隔距離を答える問題でしたが、事前講習会でテキスト及び法令集の該当ページで詳細説明を行ったにもかかわらず、全問正解者が低い結果でした。周囲壁を不燃構造にした場合は離隔距離0の正解者は多数いましたが、離隔距離は可燃物からの距離であると理解している受験者が少ない結果でした。

#### (2) 厨房平面図の機器の穴埋め、シンボル記入、機器リスト空欄埋め問題

##### ① 機器の穴埋め

機器の選択は、ほとんどの受験者が作業フローを理解しており、良くできていました。但し、図の描き方が不適切なものもありました。

###### (不適切例)

- ・冷凍庫 扇の軌跡の描き方。高さのある機器を表す一点鎖線。
- ・舟形シンク 一槽シンクと区別できない描き方。
- ・洗浄機 ブースターの描き方、高さのある機器を表す一点鎖線。
- ・魚焼器（下火式） 機器が何であるか判断できない描き方。

##### ② シンボル・コード記入

全体的に、よくできていました。

###### (間違いの多かった箇所)

- ・スチコン用の電気シンボル。
- ・焼鳥器のガスシンボル。
- ・アイスクリームストッカの電気シンボル

##### ③ 機器リスト空欄埋め

機器の穴埋めができていたため、機器リスト空欄埋めも高い正解率でした。

#### まとめ

厨房平面図の機器の穴埋め、シンボル記入、機器リスト空欄埋め問題は例年と同じ傾向の出題方法で比較的良くできていましたが、離隔距離の正解率が低く、離隔距離についてはまだ理解が足りない受験生が多く見られました。